

異食と過食

らせるようになりま
した。
何度否定しても、

収集癖と並行して
私を悩ませたのは、
Sさんの過食と三人
揃っての異食でした。
Sさんは、「花風」
に來る二日前まで食
事を口にしていな
かつたと聞いていた
ゆ、初日はお粥(か
ゆ)を出しました。
ところが、
「コロ(犬のぬいぐる
み)は、普通のご飯が
好きです」
「コロや、肉を食べた
いねえ」
などと、コロちゃ
んにかこつけて要求
を出します。Sさん
はとても瘦(や)せて
いて小柄な方でした
が胃は丈夫でした。
食事が済んだ後も、
「私はお腹がすいて
仕方がありません。
何かください」
「さっきのご飯はみ
んなコロが食べてし
まいました」
などと言ひ、台所
で片付けをしている
と、自分のバッグの
中に入っていた馬券
を握りしめて
「これで何か売って
ください」
と訴えます。その
都度、「大丈夫です
か?」と言ひながら
お菓子など差し上げ
ていたのですが、そ
のうちSさんは夫に
向かって、
「私が貸していたお金
を返してください」
と詰め寄って、困

「三千元貸しました。
私にも買いたいの
があるのです」
と言ひます。困っ
ている夫を尻目に、
私は密かに「これは
妄想ではなく、すご
い知恵だ!」と感
心してしまいまし
た。いつもいつも馬
券では申し訳ないと
思つての考えだつた
のでしよう。
そんな毎日にピリ
オドを打つた
のは夫でし
た。ある日

花風屋繁盛記

連載 8

人と人がつながって



NPO法人在宅生活支援
サービスホーム花風

木村美和子理事長



イラスト・木村玲

で勘弁して
ください」
と差し出し
たのは、お
菓子の袋で
した。Sさ
んが満足し
たのは言う
までもない
とでした。

異食と過食 みんなで異食

下宿人たちは、そ
れぞれに食べられな
いものを口にして私
を驚かせたり、肝を
とSさんは答えま

冷やさせたりしまし
た。Tさんは、私が
前後塩振りにして台
所に置いた生サンマ
を二本食べてしま
ました。Kさんは、
Tさんに焦げ茶色の
はし置きを引き出し
から出して食べさせ
ようとしました。
そして、Sさんは
……ある夜中のこと
でした。「ガリ、ガリ、
ガリ」という音が聞
こえてきました。何
の音か見当のつか
ないままに明かりを
つけ、音のする方に
目を向けると、Sさん
が何かを一心不乱に
かじっていました。
目を凝らすと、それ
は写真立てでした。
写真立てを口にくわ
えたまま上目遣いに
私を見たさまの、そ
れはまさしく怪談の
世界でした。
一瞬の後、気を取
り直して「何をして
いるのですか?」と
と探しに探しても見
つからず、「本当に食
べたのですか?」と
聞けば、力強く
「はい。食べました」
病院でレントゲン
を撮ると、確かにそ
こにはSさんの義歯
がはつきりと映つて
いました。
その義歯は、名医
によって無事胃から
救出されましたが、
この時また自分の甘
さを思い知らされま
した。

先手必勝 徘徊 なんて怖くない

「おいしくないで
す! 食べるものが
ないから仕方ない
です」
というものでした。
至極もつともなお答
えで安心はしました。
その後、Sさんは胃腸
が丈夫だから良いだ
ろうと、ドンブリ一杯
のお茶漬を食べ
ていただきました。
そんなことがあつ
てからは、特に寝床
の周囲には口に入る
ような物は置か
ないように神経質な
になりました。
それなのに、その
一カ月ほど後、S
さんは自分の下の義
歯を飲み込んでしま
ったのです。食後、
義歯を洗浄しようと
口を開けてもらう
と、「ない!」と本人
は「食べました」
と言ひますが、
「そんなことはない」
と探しに探しても見
つからず、「本当に食
べたのですか?」と
聞けば、力強く
「はい。食べました」
病院でレントゲン
を撮ると、確かにそ
こにはSさんの義歯
がはつきりと映つて
いました。

「オラは行かないよ」
の、行きません宣
言。誰も留守番をし
たくなないので、必死
に説得。それでどう
なったかというの
は、次回で…。